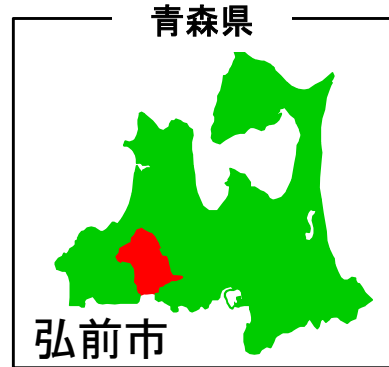


ひろさき「農の魅力」体験事業の実施

事業実施主体:弘前市(青森県)

- 弘前市は日本一のりんご産地であり、農業を基幹産業としているが、若者の県外流出等による農業の担い手不足が大きな課題となっている。また、新たな課題として、農業について知らない若者の増加や、消費者が食料生産の現場に接する機会の減少に伴い、食の大切さや安心が実感できない状況にあることが明らかになっている。
- 小学生の早い段階からりんごを題材にして農作業体験や食育活動を実施し、食の大切さを伝えるとともに、りんごをはじめとした農業に関心を持ってもらい、将来の地域産業を担う人材育成を図る。



【取組の内容】

【参加者:市内小学校 2校 3年生 計90名】

- 市内農業者を講師とした、農作業体験等
 内容:学習会、農作業体験(摘果、着色管理、収穫)、施設見学(りんご加工場)
 講師:タムラファーム株式会社



学習会の様子



農作業体験の様子

- 食育講座
 内容:りんごに関する食育講座
 講師:野菜ソムリエ 小林 潤子 氏 (弘前市在住)

【取組の成果】

- 一年を通したりんご栽培に係る農作業を体験することで、農業に親しみ、興味を持ってもらう機会となっている。
- 本取組を通じ、子どもたちが農業に対する理解が深まったことで、将来の地域産業を担う人材となることが期待される。
- 広報誌(約1万2,000部)を活用して広く紹介することにより市民への普及啓発を図り、効果をさらに高めることができた。
- また、食育講座を行ったことで、食の大切さや、りんごに対する理解が深まり、食に関する意識を高めることができた。

【アンケート結果】

しつもん

今回の体験を通じて、(かぞくの人と)お買い物をするときに、その作られたばしょや作った人を気にして、お店で売っているものを買いたい(買ってもらいたい)とおもいましたか?

